

国際社会学部

美術史学

Art history



どのような学問か

絵画・建築・彫刻・工芸品などの造形作品の研究をする学問。作品というモノの観察と、作品に関連するさまざまな文字資料の分析を、車の両輪のように同時に進めていく点に特徴があり、モノそのものの発見・分析に力を注ぐ考古学や、文字資料を重視する歴史学との違いがある。近年では、図像学や様式論といった従来の研究手法に加えて、人類学など共同しての学際研究、ジェンダー論の視座を取り入れた研究など新たな方法が次々に導入されている。国・地域別の美術史を乗り越えようとする試みも盛んで、グローバル時代にふさわしい美術史学のあり方が模索されている。

外大の美術史学

美術史学は、史学としての側面を強調すれば国際社会学部、文化研究としての側面を強調すれば言語文化学部と、どちらにあってもおかしくない学問分野だが、現在は西洋美術史を専門とする専任教員が一名、国際社会学部の地域社会研究コースに配属されている。学内で関連する授業数は少ないが、関心を持った学生は、他大学との協定により、武蔵野美術大学などで開講される授業を履修して学びを深めることができる。美術史やキュレーションを専攻する国内外の大学院への進学実績や、新聞社文化事業部などへの就職実績があり、アートマネジメントや文化事業、文化行政などの分野で本学のOBOGが活躍している。

関連する授業一覧（2023年度）

久米 順子

- 「ヨーロッパ中世美術と近現代の社会・美術」
- 「近現代の西洋／スペイン美術史」
- 「美術・建築からみるイベリア史」

豊田 唯

- 「近世スペイン美術史」

ゼミ

- 久米順子ゼミ（イベリア）

関連する学問分野

- 歴史学
- 美学
- 社会学
- ジェンダー論
- 表象文化論
- 文化遺産学

おススメの本

- 瀧口美香『キリスト教美術史：東方正教会とカトリックの二大潮流：カラー版』中央公論新社、2022年
- 若桑みどり『絵画を読む—イコノロジー入門』NHKブックス、1993年
- 本江邦夫『中・高校生のための現代美術入門 ●▲■の美しさって何？』平凡社ライブラリー-offシリーズ、2003年